

ー比較の中のパレスチナ／イスラエル複合紛争」

目的：文明の境界地域における紛争に対する複合的視座の構築

- せめぎあい、折り重なりながら紛争を形成する、民族、宗教、軍事、文明論的なものを含む多様な〈境界〉の在り方を議論する
- パレスチナ／イスラエルと他の文明の境界地域における紛争との比較

若手研究者17名がメンバーとして参加（パレスチナ／イスラエル研究者11名、ユーゴスラヴィア3名、チェチェン1名、中国青島1名、地中海の移民収用島1名）



ワークショップ

「折り重なる境界、揺れ動く境界ー比較の中のパレスチナ／イスラエル複合紛争」

（2012年1月21～22日、早稲田大学）

1日目：

パネル①「越境と抵抗」

2日目：

パネル②「揺れ動く境界、越境する植民地主義」

パネル③「ナショナリズムと文明の境界」

総合議論

- 各報告者がそれぞれの紛争地域における多様な〈境界〉の在り方を提示
- 各パネルのコメンテーター、総合コメンテーター（臼杵陽・日本女子大学教授）、フロアからの発言を受け、物理的境界と認識論的境界の相互作用や、パレスチナ／イスラエル研究における国家論不在の問題等の議論を行った。

◆準備研究会を開催（2011年12月11日、東京大学）